

第161回 関西広域連合委員会

日時：令和5年12月16日（土）

場所：NCB会館 2階 淀の間

開会 16時30分

○三日月広域連合長 第161回関西広域連合委員会を始めさせていただきます。ちなみに今朝の琵琶湖の水位はマイナス70cmであり、取水制限をしなくてもよい状況になっております。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

協議事項の1つ目、「令和6年度当初予算（案）について」を議題といたします。まず本部事務局から御説明させていただきます。

○本部事務局 本部事務局総務課でございます。令和6年度の当初予算案につきまして、御説明させていただきます。

1 ページですが、歳入、歳出とも合計額は46億4,067万9,000円で、対前年度比11億3,820万5,000円の増加です。比率で32.5%の増加となっております。

増加分約11.4億円の主な内訳ですが、下の表の増減額の欄を御覧いただけますでしょうか。大きなところで、関西パビリオン設置運営費が9億7,300万円、広域観光・文化振興費に係る経費が約1億200万円で、この2つで増加分の約94%となっております。関西パビリオンにつきましては、来年度、建築工事が本格化することや、展示の企画、設計、運営計画の策定などの経費が必要となるためでございます。なお、参加府県からの負担金の使途を明確化するため、負担金を一旦、設置運営基金に積み立てた上で、事業に充当しております。そのため予算上、国庫支出金を除く負担金の部分が、実際に事業に要する経費の2倍が計上されます。したがって、実質的な増加額は約5.5億円となっております。広域観光・文化振興費につきましては、約1.1億円の大阪・関西万博に向けた文化発信事業が、拡充事業として計上されております。

この事業につきましては、国庫支出金約8,000万円と寄附金約1,000万円が特定財源として見込まれております。なお、構成府県市に御負担いただきます負担金は、歳入の欄の一番上にございます総額で21億2,562万3,000円となり、前年度より3億9,302万2,000円の増加となっております。

2ページをお願いいたします。予算の削減状況を整理した表になります。令和6年度予算につきましては、9月の広域連合委員会で御協議いただきました予算編成方針において、この表の下に記載しております①から⑩までの経費以外につきましては、令和5年度当初予算額を上限とするようお願いしたところがございます。この表は、その①から⑩までを除きまして、削減対象とすべき経費につきましては、削減の状況を整理したものでございます。表の左側、令和5年度当初予算の(A)の欄から(B)の欄の削減対象外経費を引いたものが(C)の欄、これが令和5年度の削減対象経費となっております。同様に令和6年度につきましては、(D)から(E)を引きました(F)が削減対象経費となります。この(C)と(F)を比較いたしまして、削減対象の負担金の増加額 $(F) - (C)$ が(I)の欄になりますが、これが負担金の増加額になります。本部事務局の(I)の欄、511万円以外は、どの分野に関しましてもマイナス、またはゼロでございますので、予算編成方針の目標をほぼクリアしております。なお、本部事務局の削減対象とすべき負担金の増加の理由は、広域連合議会と広域連合委員会の開催に係る会場借上費を、例年、不足分を補正予算で対応しておりましたが、今年度からは、当初予算段階から必要なことが明らかな経費でございますので、補正予算ではなく、当初予算から計上するよう整理をさせていただきました。

3ページをお願いいたします。施策体系表の総括表になります。最下段、総計のところは、先ほど御説明いたしました概要の表と同額でございます。令和5年度と6年度の当初予算比較で、約11.4億円の増加となっております。なお、その行の一番右、財源内訳のうち一般財源は21億2,562万3,000円となっております。

4ページから8ページまでは、施策体系別の内訳をお示ししております。

9 ページ以降は、広域防災から始まりまして、各分野の主な事業を記載しておりますが、少し細かくなりますので、説明を省略させていただきたいと存じます。なお、この予算案につきましては、本日御承認いただきましたら、年明け1月12日に開催される広域連合議会総務常任委員会において御説明した上で、3月2日開催予定の広域連合議会に提案いたしまして、議決を求めたいと考えております。

説明は以上でございます。

○三日月広域連合長　ただいま説明のあった内容につきまして、何か御意見や御質問はございますでしょうか。あと、補足する事項などございますか。

2 ページにありますように、削減対象外経費を除く予算については、前年度予算額を上限としながら、それぞれの部局に御尽力いただき、最終精査した上で、予算案として形づくられてまいりました。

特にないようでしたら、この内容で広域連合議会にお諮りしていくということにしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、続きまして、2つ目の議題、「関西広域連合広域計画の改定について」を議題といたしまして、本部事務局から御説明させていただきます。

○本部事務局　本部事務局計画課でございます。

資料2を御覧ください。

現行の関西広域連合第5期広域計画について、奈良県の全部参加に伴い、改定を行うものでございます。改定の箇所につきましては、「資料編」の「構成団体分野別加入状況」に奈良県の追加となる分野に丸を入れるという形式的な改定となります。

今後のスケジュールとしましては、年明けの広域連合議会の総務常任委員会、全員協議会での説明を経て、広域連合議会令和6年3月定例会に議案として提案させていただきたいと考えております。

説明は以上となります。

○三日月広域連合長　この内容も、特に御異論はないと思っております。形式的な改定内

容について、御理解いただきたいと思います。なお、奈良県全部参加に伴う規約改正の各府県市議会における議決等も、今、順次行われているということでございますので、整い次第、また、どういう分野を、みんなで担っていくのかについて議論をしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

何かございますか。よろしゅうございますか。

それでは、以上、御確認いただいたものと決し、報告事項に入らせていただきます。まず1つ目は、「タイ（バンコク）における海外観光プロモーションの実施結果について」、こちらは西脇副広域連合長からお願いいたします。

○西脇副広域連合長 資料3を御覧いただきたいと思います。

タイ（バンコク）における海外観光プロモーションの実施結果について、御報告いたします。11月22日と23日に構成府県市の代表者の皆様と経済団体、さらに日本国際博覧会協会にも参加いただきまして、大阪・関西万博と万博の開催に合わせた関西の広域周遊や企業のインセンティブ旅行等について働きかけることを目的に、観光プロモーションを実施いたしました。バンコクでは日本人商工会議所、JETRO事務所、タイの旅行代理店協会や観光庁を訪問するとともに、タイの副首相でもありますプームタム商務大臣を表敬訪問いたしまして、大阪・関西万博と関西広域の魅力等の説明をし、あわせて意見交換を行いました。関西観光セミナーでは、現地の旅行事業者など約100名にお集まりいただきまして、関西の魅力や大阪・関西万博を紹介いたしました。セミナーの会場には、梨田在タイ日本国大使と、タイ政府のナルモン通商代表も興味があるということで駆けつけていただきました。あわせて、吉本興業のタイ住みます芸人のお二人にタイの関西観光大使を委嘱させていただき、タイの皆様にごんごん関西の魅力をPRしますとコメントをいただきました。

全体の感想ですけれども、タイは日本への関心が非常に高く、訪日される方の7割がリピーターということもありまして、関西は非常に魅力的な地域だという評価をいただいております。残念ながら、万博の知名度はあまり高くなかったのですが、内容

を紹介いたしますと、副首相は非常に魅力的なイベントであり、きっと万博の時には多くの人に関西に行くだろうという話もされていまして、また、自分も行きたいと話もされていまして、手応えもありました。特に全ての箇所で、ミヤクミヤクについては非常に人気者でして、これは何だという質問が多く、話題の中心でございました。今回の訪問を機にタイの観光庁から、相互交流に向けたLOIを結んではどうかということも提案いただきましたので、検討を進めていきたいと思っております。タイで構築しましたネットワークを活用して、万博に向けました関西の魅力の発信に努めてまいりたいと思っております。

それで、続いて、資料4。

○三日月広域連合長　　そうですね。はい。お願いします。

○西脇副広域連合長　　関連いたします資料4を御覧いただきたいと思っております。

これは、これからの韓国へのプロモーションの実施についてということで、来年1月29、30日に三日月広域連合長を団長として、韓国でのプロモーションの実施を予定しております。参加者は、広域連合長のほか、構成府県市、近畿運輸局、日本国際博覧会協会、関西観光本部、それから、関西エアポート、日本旅行業協会の関西支部の参加を予定しております。韓国では、政府機関との会談と観光関連団体との意見交換のほか、現地の旅行事業者や航空会社を対象とした観光セミナーの開催を予定しております。韓国も非常にリピーターが多いのですけれども、訪日観光客に対しまして、関西各地への周遊を促したいと思っておりますし、大阪・関西万博の開催に合わせ、視察、インセンティブ旅行や教育旅行をぜひ呼びかけたいと考えております。

説明は以上です。よろしくお願いたします。

○三日月広域連合長　　ありがとうございました。

タイ、バンコクは強行日程、たくさんの成果を得て帰ってきてくださいましたし、1月には韓国でのプロモーションも予定されております。何か御意見や御質問はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

これから万博も行われますので、更に観光プロモーション等を積極的に行ってまいりたいと思います。

続いては、「令和5年度関西女性活躍推進フォーラム事業について」を本部事務局から報告させていただきます。

○本部事務局 本部事務局連携推進課です。

お手元の資料5を御覧ください。

関西女性活躍推進フォーラム事業について、今後の予定等の報告でございます。今年度の事業につきまして、1の全体会議ですが、先週12月12日火曜日にフォーラム委員による会議を4年ぶりにリアル開催で行いまして、事業を行っていく上での意見交換や、参加団体からの取組事例発表などを行いました。

2のワークショップは、今年度新たに取り組むものでございまして、フォーラム構成団体が女性活躍を推進する上で抱える課題についてグループ討論し、今後の活動における課題解決に役立てます。

3のシンポジウムの開催について、今年度は2月20日に一般など、より多くの方に参加していただくため、オンラインで開催します。異次元の少子化対策をテーマとした講演や、ワークショップの最優秀グループからの発表を行うこととしております。なお、当日は、三日月広域連合長から御挨拶いただくことになっております。

最後に、4の万博に向けた研究の実施です。こちらは令和6年度に予定している事業でございまして、大阪・関西万博の期間中におきまして、本フォーラムの活動の集大成として研究成果発表を行うため、本フォーラムとアジア太平洋研究所が共同で、関西における、より良い女性活躍の推進を目指し、関西の女性の潜在力をマクロ、ミクロの両視点から研究を行うものでございます。

以上でございます。

○三日月広域連合長 ただいま報告のあった内容のとおりでございますが、何か御意見や御質問はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

こういったフォーラムやワークショップ、そして、シンポジウムを予定されておりますので、それぞれ積極的に参加いただきたいと思います。また、万博がございますので、女性活躍、更なる取組を推進してまいりたいと思います。

続いての報告事項、「令和5年地方分権改革に関する提案募集に係る国の対応方針について」を議題とし、本部事務局から報告させていただきます。

○本部事務局 本部事務局地方分権課です。

資料6を御覧ください。

令和5年地方分権改革に関する提案募集につきましては、11月16日木曜日に開催されました内閣府の地方分権改革有識者会議・提案募集検討専門部会合同会議におきまして、内閣府と関係府省との間で調整が行われました提案事項に係る対応方針案が示されました。

1の対応状況でございますけれども、表に記載のとおり、「提案の趣旨を踏まえ対応」とされたものは、関西広域連合単独提案2件、構成府県市と共同提案した9件中8件となりました。

次のページにお移りいただきまして、詳細は別紙を御覧ください。

1の関西広域連合提案につきまして、簡単にですが御説明いたします。

(1)の令和5年度提案の2件でございますが、こちらは提案事項の欄の①調理師免許、②製菓衛生師免許の申請の際に、医師の診断書の添付を不要とする提案につきまして、国において取扱いを検討するものでございます。

次の(2)でございます。令和4年提案検討結果でございますが、昨年度、国におきまして、結論を持ち越されていた提案事項の欄の①から⑤までの手続につきまして、これらの手続のオンライン化につきましては、希望する都道府県におきまして、令和7年度から順次可能とするという方針が示されたものでございます。

1ページ目にお戻りいただきまして、今後のスケジュールにつきましては、2に記載のとおり、12月中に開かれます閣議で正式に決定される予定です。

報告は以上です。

○三日月広域連合長 ただいまの報告内容に何か御意見、御質問ございますか。よろしゅうございますか。

それでは、関連して平井委員からお願いいたします。

○平井委員 ありがとうございます。

昨日、第33次地方制度調査会が結審しました。それで、最終の報告が取りまとめられました。この間、我々関西広域連合側からも、また、地方団体側からも主張をさせていただく中で、関西広域連合の果たしている役割、その意義なども申し上げてきたところでもあります。その結果、お手元の資料にありますが、最終答申の中に関西広域連合で防災、あるいは観光、そして、大切なのは新型コロナ、こうした対策につきまして、実を結ぶ、そういう活動状況だということ、評価を初めていただいたわけがあります。こういうことをモデルとして、実は東京圏、首都圏のことが議論の対象にもなっていて、首都圏も、お互いに連携組織を9都県市で持っているわけですが、ただ、こうした関西広域連合のやり方も参照できるのではないだろうか、新型コロナの対策をどのように都道府県境を越えてやっていくかというテーマの下に、精力的に議論が行われる中で、関西広域連合が取り上げられたということになりました。御報告を申し上げ、ぜひこれからも全国の広域行政のモデルとして、この我々の関西広域連合を育てていければと思います。

○三日月広域連合長 ありがとうございました。

平井委員から報告のあった内容も含めて、何か御意見や御質問はございますか。

今回、デジタル・トランスフォーメーションの進展及び新型コロナウイルス感染症対応で直面した課題等を踏まえ、ポストコロナの経済社会に的確に対応する観点から、地方制度のあり方が諮問され、議論されて、その中で、お手元の1枚もののように、関西圏の様々な連携による取組内容が、一定御評価いただいたということでございます。こういった事々を足がかりにしながら、分権改革を更に進める、また、その担い

手に関西広域連合がなれるように頑張っていきたいと思いますので、引き続き、よろしく願いいたします。

次に「北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進大会及び中央要請の実施結果について」を本部事務局から報告させていただきます。

○本部事務局　本部事務局計画課でございます。

資料7を御覧ください。

北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進大会及び中央要請の実施結果について、報告いたします。11月30日、東京におきまして、関西広域連合、京都府、大阪府、関西経済連合会主催により建設促進大会及び中央要請を実施いたしました。午前中はホテルグランドアーク半蔵門におきまして、国会議員をはじめ、多くの来賓の方々に御出席いただき、大会を開催しております。

2ページ目になります。

午後からは中央要請としまして、自民党の梶山幹事長代行、稲田衆議院議員、公明党の北側副代表、国土交通省こやり大臣政務官などの方々を訪問しまして、要請活動を実施いたしました。建設促進大会、中央要請におきましては、一日も早い大阪までの全線開業のため、環境アセスメントの丁寧かつ迅速な実施、整備のための財源の確保、施工上の諸課題の解決、沿線自治体に過度の負担が生じないようにすること、新大阪駅の駅位置の確定、敦賀駅での乗換え利便性の向上、敦賀・新大阪間には並行在来線は存在しないことの確認などを強く訴えたところでございます。

資料の別添2-1には、大会における主催者及び来賓の国会議員の方々の発言要旨を、別添2と3には、要望書を参考までに添付しております。

報告は以上となります。

○三日月広域連合長　いよいよ来春3月16日に敦賀までの開業と、その後のその先の京都、新大阪へのできるだけ早い接続をという要望活動等を行ってまいりました。

何か御意見、御質問等がございますでしょうか。よろしゅうございますか。

左様、御確認をいただいたということで、次に報告事項の6つ目、「『令和5年度関西広域連合協議会 大学生等との意見交換会』の開催結果について」を本部事務局から報告させていただきます。

○本部事務局 資料8を御覧ください。

令和5年度関西広域連合協議会 大学生等との意見交換会を、11月25日土曜日、京都市内で開催いたしました。本意見交換会は、若者世代の意見を関西広域連合の施策に生かすことを目的に、平成28年度から毎年度実施しているものでございます。今年度は、「大阪・関西万博の開催を契機とした『担う関西』・『動く関西』・『つながる関西』の創造」をテーマに政策提案を募集いたしましたところ、8大学19チームから政策提案レポートの提出がありまして、事前の書類審査により選ばれた6大学8チームが政策をプレゼンテーションし、審査員等との活発なディスカッションが展開されました。

次ページにお移りいただきまして、別紙を御覧ください。

発表チームと政策提案の概要等を表にしたものでございます。上の表が表彰対象チームでございまして、最優秀賞の同志社大学のほか、優秀賞を2チーム、特別賞を1チームが受賞されました。

1ページ目にお戻りいただきまして、(2)にございますとおり、大学生等と構成府県市の若手職員が、学生の政策提案や自治体の施策等について意見交換を行いましたほか、(3)の交流会では、三日月広域連合長と鈴木京都府副知事が学生と、「大阪・関西万博において次代を担うこどもたちが未来社会を体験できる取組等」についてフリーディスカッションを行い、学生の皆さんからは、御覧の①から⑦までのような若者らしいアイデアが出されたところでございます。

報告は以上です。

○三日月広域連合長 私も参加してきましたけれども、選ばれた8つのチームの皆さんのフレッシュな御提案、また、意見交換をさせていただいて、とても刺激になり

ました。特に、どの府県市も大学との連携はされていると思いますが、大学生は広域で通いますし、下宿したりしながら活動しますので、関西広域連合として一緒にやる対象として、とても親和性があるのではないかなとも思いましたので、これは、来年度もやるのかな。

○本部事務局 やります。

○三日月広域連合長 もうちょっと最優秀賞の賞品を良くしてほしいという意見も出ましたので、各府県市の皆さんの御協力もいただきながら、学生の皆さんがより頑張れるような意見交換会にできたらいいなとも考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

特にないようでしたら、次の議題に移ります。「いのち育む“水”のつながりプロジェクト ～万博開幕500日前 清掃活動の実施結果について～」を本部事務局から報告いたします。

○本部事務局 引き続き、本部事務局から報告させていただきます。

資料9を御覧ください。

琵琶湖・淀川流域対策につきましては、本年9月に立ち上げた「いのち育む“水”のつながりプロジェクト」の一環といたしまして、万博開幕500日前を記念し、清掃活動を実施いたしました。

まず、1の「いろんなものに向けて、淀川でゴミを拾おう！」につきましては、三日月広域連合長が11月26日日曜日、大阪の淀川河川敷で総合地球環境学研究所の浅利教授、同志社大学の原田准教授らによる「ゴミゼロ共創ネットワーク」の皆さんや、飛び入り参加した地元の少年野球チームの方と一緒に、総勢約100名で川沿いを中心にごみ拾いをされました。その結果、2時間程度の活動で、ペットボトルなど大量のプラスチックごみが集められました。浅利先生や原田先生からは、最近の琵琶湖の水位低下とごみの量との関係性等についてのお話もありまして、参加者のみんなが上下流のつながりを意識しながら清掃活動を行いました。

次に、2の滋賀県の「県下一斉清掃運動」につきましては、1の取組の趣旨に賛同されました滋賀県と連携いたしまして、滋賀県が例年実施されている清掃運動におきまして、多くの参加者に対して、ごみゼロ達成に向けた取組の周知や協力の呼びかけを行ったものです。更なる上下流の連携に向け、構成府縣市と連携しながら、水のつながりを感じられる取組を引き続き行ってまいりたいと思います。

報告は以上です。

○三日月広域連合長　　今、報告のあった内容のとおりですけれども、万博を盛り上げるためにも、また、関西のつながりをつくっていくためにも、こういう取組は私も初めて参加しましたが、とても可能性があるなと思いました。途中から野球チームが参加してきて、雰囲気が変わりまして、スポーツイベントのようになり、気合いのかけ声がかかったりして、なかなか盛り上がりました。500日前だけじゃなくて、400日前、300日前、200日前とやったらどうだと。そして、万博の1つのレガシーとして、こういう取組を残していけたらいいねとも話し合っておりますので、府縣市の皆さんと協議していきたいと思います。今回は淀川でやりましたけれども、いろんなところに、かなりいろんなごみがあります。こんなものまで捨てられているのかとも実感いたしました。ぜひ今後の取組につなげていきたいと思います。

何かございますでしょうか。

ただ、ミyakミyakが来てくれなくて。汚れたら嫌なのか、忙しくて来られなかったのか。資料の写真はミyakミyakのパネルです。パネルのミyakミyakが映っていて、子どもたちが寂しそうにしていたのですけれども、ミyakミyakに会えると思って。こういう取組で盛り上げることも大事だなと思いました。これからも企画していきたいと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、「ワールドマスターズゲームズ2027関西大会に向けた今年度の主な取組について」、こちらはワールドマスターズゲームズ関西組織委員会事務局から御説明をいただきます。

○ワールドマスターズゲームズ関西組織委員会事務局　ワールドマスターズゲームズは、昨年の6月に2027年5月までの延期が決定して以来、延期に伴う新たな負担はかけないという方針の下で、機運を低下させない取組を進めてきました。今年度、新たにワールドマスターズゲームズセミナーとして春と秋の2回、関係の皆さん、スポンサー、経済界、各政令市や関西広域連合の議員組織、マスコミを含めた皆さんに声をかけて、進捗状況等の報告会をさせていただきました。5月には、IMGAのセルゲイ・ブブカ会長が関西に来られるという機を捉えまして、ブブカ会長のスピーチに加えて、前スポーツ庁長官の鈴木大地さんの基調講演の後、三日月会長とブブカ会長による合同の記者会見も開くということで、この時の記者会見で、2026年の5月、ちょうど開催の1年前ですけれども、この5月からエントリーを開始することを正式に発表させていただきました。この秋、11月にはシンポジウム形式によりまして、コロナが収束した後のワールドマスターズゲームズを開催することの意義について、対外的にアピールするという趣旨のセミナーを持たせていただきました。

2つ目が、ワールドマスターズゲームズ関西推進議員連盟総会の開催です。2019年、令和元年の11月に第2回を開催して以来、コロナ禍のために開催できなかったこの総会を、この13日、臨時国会最終日に予定し、開きました。残念ながら、内閣不信任案の審議のため、衆議院議員、二階会長や盛山文部科学大臣の出席は得られなかったのですけれども、参議院議員の皆さん10名、秘書の方も含めると約40名の方にお集まりいただきまして、進捗状況を報告した上で、国に対する要望書を取りまとめていただきました。これが今年度の12月までの主な取組です。

次ページ以降に、その議連で説明した資料を付けています。「Road to ワールドマスターズゲームズ2027関西」ということで、これは議連の取組や、4ページに大会の開催方針、5ページ、6ページで当面の取組方針について説明した後で、7ページ以降は、それぞれ具体的な取組について写真を付けて説明しました。

この資料で、例えば8ページの右下を見ていただきますと、「ねんりんピック2023

愛媛大会」にブースを出しました。2024年には鳥取県で「ねんりんピック」が開催されますので、より力を込めて関西大会をPRさせていただきたいと思っていますところ
です。

なお、9ページ以下は、各府県、政令市における取組、13ページには関西広域連合の枠の中で、仕掛けの中で各府県が取り組んでいただいています関西マスターズゲームズの取組状況、15ページでは、関西経済連合会も力を入れていただいていますので、その取組を紹介させていただいています。最後の16ページでは、特に海外から2万人の参加を目標にしています。これをどう進めるかが大きな課題ですけれども、今年度は2025年に「第10回ワールドマスターズゲームズ」が開催される台湾、台北と新北市、新北市の組織委員会との連携を進めているところです。来年2月にも、このエントリーが開始されると聞いておりまして、キャンペーンのために日本を訪れて、いろんなキャンペーン活動をしたいということをおっしゃっています。その機を捉えて、我々としてもMOUを締結するなりして、合同のPRをして、作戦を展開していこうと考えているところです。

いま一つ、下段にパンパシフィックマスターズゲームズ、これはオーストラリアですけれども、第3回のワールドマスターズゲームズ、ブリスベン、これは2032年にオリンピックが開かれる都市ですけれども、そのブリスベン大会のレガシー大会が2年に1度、開催されています。ここともMOUを結びまして、双方のPRを進めていこうということで、かねてから提携関係を進めているところです。

以上、今年度の取組の状況について御説明させていただきました。

○三日月広域連合長　　今報告のあった内容について、何か御意見や御質問はございますでしょうか。

延期になりましたけれども、新たな負担はせずに、機運を絶やさず、そして、つないでいこう、盛り上げていこうということでございます。来年は鳥取で「ねんりんピック」、また、神戸で「世界パラ陸上」、そして、再来年は滋賀県でも「国スポ・障

スポ大会」が行われますので、ぜひ、それぞれの場面場面で盛り上げていく、つないでいく取組をしていきたいと思えます。

何かございますか。よろしゅうございますか。

ないようでしたら、御確認いただいたということで、以上で報告事項は終了となります。資料配布について説明は割愛いたしますが、御確認いただきたいと思えます。

「『企業の人材確保の取組に関するセミナー』の開催について」、また、「令和5年度国内産業プロモーション事業について」、そして、「主なイベント等スケジュール（令和5年度第4四半期）」について資料が付いておりますので、よろしくお願ひいたします。

以上で、この広域連合委員会の議題は全て終了いたしました。何かこの際ということでの御発言はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

ないようでしたら、第161回関西広域連合委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

○本部事務局　　どうもありがとうございました。

それでは、続きまして、この会場で記者会見に移らせていただきます。御質問がありましたら、所属とお名前をおっしゃっていただいてから、お願ひをしたいと思いますと思えますが、御質問はいかがでございましょうか。

○読売新聞　　読売新聞の石見といいます。1点お伺ひします。

関西パビリオンの件ですが、10月頃に建設費が増えたという報道もありまして、今回、その関連予算も当初予算案に入っているのではないかと思えますが、そのほかの部分で、当初よりも見込みの額よりも多くなったとかですね、今回計上されている関西パビリオン関連の予算について、コメントをお願いします。

○三日月広域連合長　　資料1にありますように、令和6年度の当初予算の中で、関西パビリオンにつきましては、約18億円を予算案として計上させていただいております。既に前回の委員会でスペックを変更する増額の契約内容については、御確認いた

だき、承認いただいておりますので、うち来年度分の予算案として計上させていただいております。それぞれ見直して、減らしている部分もございますので、今回は、こういった形で来年度分を計上させていただきたいと思っております。広域連合のこのパビリオンの予算案につきましては、こまめに確認し、できる限り増額しないように調整すると同時に、必要なもの、致し方のないものについては増額させていただく。ただ、丁寧に説明しながら、御理解を得る努力をしていくことに努めていきたいと思っておりますので、今後もこの令和6年度の予算案の議会への説明、府県市民への説明とあわせて、今後の来年度以降の取組につきましても、さらにその努力をしっかりと行っていきたいと思っております。

以上です。

○読売新聞　　すいません。確認なのですが、この中で当初より上がったと思われる関連の経費、あるいは先ほどおっしゃった見直しをして、当初よりも削減できた経費があれば、お願いします。どなたでも結構です。

○本部事務局　　今回の関西パビリオンの費用につきましては、まずは工事費については御存じのとおり、前回、増やしたところがございます。それ以外の展示、運営等々については、今やっと全部を積算したというところがございます、当初の見込みから、それほど増えたという項目は、まだないという見解でございます。

以上でございます。

○本部事務局　　御質問はよかったですでしょうか。

それでは、これで記者会見を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。

閉会　17時10分